

共通指導事項より

1 朝の過ごし方について

- ・児童の安全確保の観点から、朝の児童玄関の解錠時刻は、7時20分以降とする。
- ※7時30分前に登校しても、校庭や体育館は使用しない。教室で読書などをして過ごす。
- ただし、体育デーなどの教師がついての早朝練習は認める。

2 遅刻した場合について

- ・8時以降 玄関は施錠するため、遅刻した児童は職員玄関から入る。
- ・職員玄関から入ったら、児童玄関で上履きを履いて 職員室にあいさつに来る。

3 忘れ物について

- ・児童が忘れ物をした場合には、原則として学校に届けさせないようにする。
- ・どうしても届けてもらわなければならないときには、保護者をお願いをする。

4 児童の帰宅先の変更やその他の伝言について

- ・緊急の場合を除き、伝言等は遠慮してもらう。

5 携帯電話（スマホを含む）について

- ・学校には持ってこない。下校後に必要で持ってくる場合には、担任に知らせるようにする。
- 職員室に預けることになる。

6 自転車乗車にかかわって

- ・自転車に乗せる、乗せないの判断は保護者が行い、保護者がその責任をもつ。ただし、冬期間については乗車させないよう各家庭に協力を求める。また、1、2年生については、できるだけ道路を乗せないことや練習する場合も広い場所で行うよう協力を呼びかける。
- 低学年：道路では乗らない（おうちの人がいるところでいっしょに練習する）。
- 中学年：自分の家の周辺のみ
- 高学年：学区からは出ない。
- ※ 跨線橋は自転車通行禁止

7 通学路について

- ・学校の裏（田んぼ側の方）から学校への出入りはしない。
- ・原別跨線橋の側道は、左側通行になっても、跨線橋から離れた道路側を通る。
- ・矢田前駅連絡通路は通ってはいけない。

8 3時ルール

- ・全校午前学習の時は、家庭学習や読書に取り組み、全校午後3時までは外出しない。

（1）原小のきまり

- ・集団の一員であることを自覚し、基本的な行動様式を身に付け、安全で楽しい学校生活ができるようにする。
- ⇒ 「原小っ子 十の約束」（上学年）、「原レンジャーへの道」（下学年）の活用を図る。

1 校内生活

（1）1日の生活

- ・学習に必要なものは学校に持ってこない。
- ・学校にきた後は、勝手に校門から外へ出ない。忘れ物をしても家に取りに帰らない。
- ・先生や友達、校内で会ったお客様、PTAの方に元気よくあいさつをする。
- ・かさは、折りたたみ、ひもで止めて各学年の傘立てに入れる。
- ・チャイムが鳴ったら静かに素早く教室に入る。授業の準備は前もってしておく。始まりのチャイムの時には、自分の席に座っている。
- ・校内では名札（学年ごとに異なる色）を付ける。名札は、体操着にも付けるが、体育の時は外す。帰りに教室の所定の場所に置いて帰る。
- ・中休みや昼休みは、体育館の使用割り当てや遊びの約束を守り、安全に気をつけて、仲良く遊ぶ。
- ・みんなのものは仲良く使う。
- ・持ち物に名前を付ける。
- ・整理整頓をする。
- ・ハンカチ・ティッシュを身に付ける。
- ・手洗い・うがい、歯みがきをする。マスクを着用する。
- ・原小ランドの遊具は順番を守り、なかよく遊ぶ。走ったりおにごっこをしたりしない。
- ・校地内での遊び場はグラウンド、原小ランドとし、道路に出たり、スキーの築山では遊ばない。

- ・ 休み時間に花壇の上に上がったり，児童館の方へ行ったりしない。
- ・ 休み時間にスキー山の裏に行ったり，田んぼの方へ行ったりしない。
- ・ 課外活動，仕事をしている児童（教師がついている時），委員会活動以外は残らない。放課後や休日は体育館を開放していないので，体育館に遊びに来ない。

（２）学習の約束

※ 東中学校といっしょの学習のやくそく

～ きちんと授業をうけるために ～

- （１）学習用具や宿題を忘れません。（提出期日を守ります。）
- （２）チャイムが鳴ったら静かに学習に取り組めるように，チャイム着席を守ります。
- （３）きちんとした姿勢で人の話を聞き，分かったかどうか反応します。
- （４）指名されたら，元気に「はい」と返事をします。
- （５）自分の考えは，はっきりと大きな声で終わりまできちんと言います。結論を先に，その後に理由を述べるようにします。
- （６）休み時間のうちに次の準備をします。（高学年の教室の移動は休み時間のうちに終わらせるようにします。）

- ・ 机の上をきちんと整理し，必要なものしか出さない。 ※筆箱は出さない。
- ・ ノートには，きちんと下敷きをしいて書く。 ※シャープペンシルは持ってこない。

（３）校舎の使い方

- ・ 両開きの扉は片側をロックして，片開きとして使用する。
- ・ 玄関や玄関と廊下のドアは，開けたら必ず閉める。
- ・ 自分の靴箱は自分で管理する。（上～上履き，下～外履き）
- ・ 冬は，中に入る前に必ず雪を落としてから入る。
- ・ 無断で，印刷室，他の教室，特別教室，教具室，集会室，プレールームなどに入らない。
- ・ 特別教室を使用したら，後始末をきちんとする。また，物を持ってくるときや返すときは，先生と一緒にいく。
- ・ 体育館では，ギャラリーやステージに上がって遊ばない。また，器具室や更衣室，準備室，放送室には勝手に入らない。
- ・ １・５・６年は１階中央廊下を，２・３・４年は２階中央廊下を通る。
- ・ 廊下や階段では静かに（走らない，遊ばない，大声をださない）行動し，右側を歩く。階段は走らないで右側を一段ずつ歩く（階段のとばしはしない）。また，手すりを滑り降りたり，飛び降りたりしない。
- ・ ぶら下がっているものや掲示しているものにさわらない。
- ・ 図書室ではおしゃべりせず，静かに読書をする。
- ・ 移動のときや清掃のときは，黙動や黙働に心がける。

２ 校外生活

（１）登下校

- ・ 登校時間を守って登校する。（７：３０前にはできるだけ登校しないようにする。）
- ・ 遅刻，欠席，早退の場合は，必ず保護者が連絡する。
- ・ 決められた通学路を通る。よその家，駐車場，空き地，田畑を無断で通ったり，遊んだりしない。
- ・ 下校の時刻を守り，寄り道をしない。

（２）遊 び

- ・ 放課後の遊びは，いったん帰宅してからにする。
- ・ 家に帰ってから学校へ遊びにくるときは，学校の敷地の中で飲食したり，携帯ゲーム機，カードゲーム類で遊んだりしない。（水分補給は各自行う）
- ・ 自転車で校庭に遊びに来たときは，自転車をバックネット裏（校門側）にきちんと整頓して置き，鍵をかけるようにする。
- ・ 子どもだけで，学区外へは行かない。
- ・ 子どもだけで，水辺（海，川，用水路）に近寄らない。
- ・ 子どもだけでコンビニ，人が大勢集まるようなお店やゲームコーナーなどには行かない。
- ・ お金やゲームなどの貸し借りはしない。おごったり，おごられたりもしない。
- ・ エアーガン，火遊びなど危険な遊びはしない。
- ・ 大人の人がない家に子どもだけで集まって遊ばない。

(3) 外 出

- ・家の人に行き先や帰る時間を告げて出かける。
4月～9月 午後6時までには帰宅する。
10月～3月 午後5時までには帰宅する。但し、日の短いときは、暗くなる前に帰宅する。
- ・交通ルールをよく守り、安全に気をつける。
- ・休みの日に、課外活動や委員会活動などで出校するとき、自転車は使用しない。
- ・見知らぬ人の車や電話などのさそいにはのらない。

【不審者対策の合言葉】

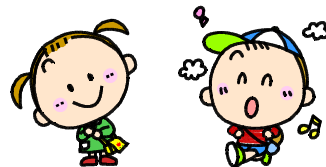
きょうは いかのおすし

- | | |
|------------|----------|
| ・きよりを置く | ・ついていかない |
| ・うしろにも注意する | ・のらない |
| ・はやく帰る | ・おお声をだす |
| | ・すぐに逃げる |
| | ・しらせる |

- ・危険を感じたら、近くの家や子ども110番に助けを求める。警察への早期通報が重要。

○ スクールバスのきまり

- ① 発車時刻におくれないよう、5分前には乗降所で待ちます。
- ② 乗るときは、下の学年を先にし、ふざけたりおしたりしません。
- ③ 運転手さんに、元気にあいさつをします。
○乗るとき (朝) 「おはようございます。」 (帰り) 「おねがいします。」
○降りるとき (朝) 「ありがとうございました。」
(帰り) 「ありがとうございました。さようなら。」
- ④ バスの中では、運転手さんや友だちにめいわくをかけません。
 - ・順序よく乗って、すぐにすわります。
 - ・バスに乗ったら、すぐにシートベルトをします。バスをおりるまで、シートベルトをはずしません。
 - ・走り出したら、立ち上がりません。
 - ・まどから顔や手を出しません。
 - ・大きな声でさわいだり、いたずらをしたりしません。
 - ・小さい子のめんどろをみます。
 - ・バスが止まってから、立ち上がります。※きまりを守らない人がいたら、注意します。
- ⑤ バスから降りるときには、特に注意します。
 - ・忘れ物がなにか、よく確かめます。
 - ・バスを降りてすぐ道路を横断しません。バスが遠くへ行って、左右がよく見えるようになってから道路を渡ります。
- ⑥ バスに乗り遅れた場合は、必ず職員室(学校)に知らせます。



積雪時におけるスクールバスの利用について

- 1 発車時間に遅れそうになって走って転んだり、車と接触したりする恐れがあります。雪がない時期よりも早めに行動しましょう。
- 2 乗降場所では、大声を出したり、雪を投げたり、道路にはみ出したりせず、静かに待ちましょう。
- 3 バスに乗る前には、体や靴に着いている雪を払って、バスの中に雪を入れないように注意しましょう。
- 4 席に座ったらシートベルトをしっかりとしめ、勝手に立ち歩きしないようにしましょう。特に冬道は急ブレーキをかけることがあります。
- 5 乗降所にバスが止まってから立ち上がるようにしましょう。走っている間は絶対立たないようにしましょう。
- 6 バスを降りてからすぐは道路を横断しないようにしましょう。特に吹雪等で見通しが悪い場合は、他の車が来ないか十分確認してから横断するようにしましょう。